

平成 30 年度沖縄県全島緑化県民運動ポスター原画コンクール審査講評

【小学校の部 講評】

比嘉 智子 審査員 (若狭小学校 美術教諭)

「みんなで繋ごう みどりのユイマール」のテーマを受け自分たちの生活と結びつけた作品が多く見られました。

最優秀賞を受賞した伊良波小学校 2 年生の柳田沙南さんの作品は、両面の中央にどっしりと大きな木、そのまわりで楽しむ子どもたちが描かれています。にこにこ笑顔の子どもたち、生き物とのふれあい、周りに描かれた遊具など、子どもたちの生活を感じさせる作品です。見ている方も思わず微笑みたくなります。緑が子供たちの生活を豊かにしていることを感じます。

優秀賞安和小学校 6 年生の大城梨央音さんの受賞した作品は、幼稚園の頃からあるという木の周りを清掃している場面が描かれています。大木となった木と自分の成長を重ね合わせるような作品です。

佳作の神原小学校 6 年生のウィーギヤンド七香さんの作品は、幹の描き方に工夫がみられ、時を重ね緑豊かな木が描かれています。バックに青い海と空を組み合わせたといいと思います。安和小学校 6 年の比嘉慶貴さんの作品は木を中心にそこに集う草花や生き物たちが描かれています。木の中央に若い葉を描き、大木も初めは小さかったことから、大切に育てたいという思いが伝わります。銘苅小学校 5 年生の釜我鈴乃さんの作品はみんなの手で植樹を行い育てる、それが地球環境をよくすることに繋がることをイメージし描かれています。

小学校の部は、緑化が自分たちの生活に大きな役割を持つということ意識し、取り組んだことが伺えました。

【中学校の部 講評】

池原 盛浩 審査会長 (沖縄県造形教育連盟 会長)

平成 30 年度の県全島緑化県民運動ポスター原画コンクールへ入賞された皆さんおめでとうございます。今年度のテーマは「みんなで繋ごう みどりのユイマール」。

入賞した作品はどれも緑の大切さを考えてもらうために、自身の体験から感じた植物への想いやイメージを、テーマに沿って色や形にうまく表現していました。

最優秀賞を受賞した下地花南さん(西原東中 3 年)の作品は、一本の木を囲むシルエットで表現された人々の輪と色のグラデーションでシンプルに表現され、緑化運動の広がりが感じられる作品です。

同じく最優秀賞を受賞した玉城美悠さん(鏡原中 3 年)の作品は、木々のトンネルと木漏れ日の表現が丁寧に描かれ、その木々に包まれた環境の中で新たに芽が伸びる生命の神秘性を醸し出しています。

今後も自身の身の回りの緑化環境について考え、体験をもとに素直な想いを表現した作品が生まれることを期待します。

【高等学校の部 講評】

前田 比呂也 審査員 (上山中学校 校長)

受賞作は、いずれも高校生ならではのアイデアを活かし、丁寧に描き込まれた作品でした。植物の美しさを表現すると同時に、植物と人の関係を取り上げ、緑化に主体的に関わっていこうとする決意がみられるような作品が、数多く見受けられました。

最優秀の浜元凜さん(浦添工業)の作品は、色とりどりに咲き乱れる花々を背景に、両手で大切に植物の発芽を守る様子が描かれています。

同じく最優秀の与那覇夏乃さん(浦添工業)の作品は、マットな色使いがユニークで植物の味わい深い描き方に特徴があります。

優秀賞の仲宗根采南さん(浦添工業)の作品は、植物のシルエットの描画に確かな技術を見ることができます。

優秀賞の天久駿さん(浦添工業)の作品は、鉢の周りの花々が装飾的に配置された美しいものです。

優秀賞の大城聖南さん(浦添工業)の作品は、植物を育む両手を上からのアングルに描いたことに優れた視点があります。